

## 自転車を取り巻く利用環境観察

### 連載 ⑩ 「並進の危険性」

自転車安全利用研究会 谷田貝一男

2人以上の友達が一緒にそれぞれの自転車を運転するとき、大人も子どもも横に並んで通行する並進が多くなります。また、朝の通勤通学時には多数の自転車が通行するため、結果的に並進になっています。自転車の並進は道路交通法第19条で禁じられており、この違反によって発生した事故件数が2022年は自転車事故全体の0.3%に過ぎません。しかし、並進することで事故につながる危険な運転や違反が見られます。

#### 前方を見ないで運転

互いに会話しながら自転車を運転しているとき、横の友達に視線が向いて前方確認が疎かになり、自動車や歩行者の接近に気付かなくなっている様子が見られます（写真1）。並進することで安全不確認というもう一つの交通



写真1 友達に視線が向いて前方確認が疎か

ルール違反による事故の危険性が高くなっています。

#### 右側通行

3台以上の自転



写真2 歩道と右側車道を並進

しているときも数台が右側車道を通行しています（写真2）。並進することで右側通行というもう一つの交通ルール違反により、対向から来る自動車との衝突の危険性が高くなっています。

#### 接触



写真3 自転車同士や歩行者との接触の危険

通勤通学時間帯の道路は多くの自転車・歩行者が行っているため、自転車は並進状況になっていきます（写真3）。並進する自転車同士の接触だけではなく、数台が並進すると歩行者との接触の危険性も生じます。

#### 安全な通行方法

並進しないことが安全な通行です（写真4）。このためには「並進が交通ルール違反であること」「周囲不確認



写真4 並進しないことが安全な通行

による事故・接触事故等の危険性があること」を認知・理解してもらったための広報活動が重要となります。